

平成 23 年 5 月 13 日

関係学部・研究科の長 殿
関係研究機関の長 殿
関係各位

名古屋大学大学院生命農学研究科
生物機構・機能科学専攻
専攻長 小林 哲夫

生物機能分化学講座（水圏動物学研究分野）准教授の公募について

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

下記の通り、名古屋大学大学院生命農学研究科生物機構・機能科学専攻では生物機能分化学講座（水圏動物学研究分野）の准教授を公募いたします。つきましては、貴機関の関係各位に周知方ご高配いただきたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外でも適任の方をご存知の場合は、その方にお伝えいただければ幸いです。

記

1. 選考方針

生物機能分化学講座（水圏動物学研究分野）は、主として魚類の神経系や内分泌系などの生理学および形態学的な研究とそれらに関する教育を通して水産学への貢献を目指しています。

今回公募する准教授には、上記およびその関連分野において優れた成果を上げつつあり、さらに生命農学を基盤とした広い視野に立って当該研究分野のさらなる発展に寄与できる人物を求めます。また大学院学生および学部学生の教育と研究指導に熱意と責任感を持ち、講座や研究科の運営に協調性をもって携われる人が望まれます。

2. 応募方法

1) 応募期限

平成 23 年 7 月 8 日（金）必着（郵便書留以外は受理いたしません [宅配便不可]）

2) 応募先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科 生物機構・機能科学専攻 生物機能分化学講座
准教授選考委員会 委員長 山本 直之

*7月15日までに応募書類受理の連絡がない場合には、委員長までお問い合わせ下さい。
また、その他のお問い合わせについても委員長までe-mailでお願いいたします。

nyama@agr.nagoya-u.ac.jp

3. 応募に必要な書類

- 1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、e-mail アドレスなどを含む）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書など）
- 4) 研究業績の別刷（論文や著書など、主要なもの10編程度、コピーでも可、これらは後日返却します）
- 5) 業績の説明（A4判、2,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと）
- 6) 研究に関する抱負（A4判、2,000字程度）
- 7) 大学における教育に対する考え（A4判、1,000字程度）
- 8) 過去10年間の研究資金獲得状況（科学研究費補助金などの競争的資金。代表と分担にわけて、名称と金額を明記）
- 9) 応募者について照会できる方2名の氏名と連絡先
- 10) 社会・学協会活動等の状況

なお、上記の書類1部に加え、「4) 研究業績の別刷」以外の書類をひとつのPDF形式のファイルにまとめ、CD等のメディアに保存して送付してください。書類は本選考に関する目的のみに使用いたします。

4. その他

- 1) 選考の過程で面接などをお願いすることがあります。
- 2) 当研究科では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。
- 3) 選考の過程については原則として研究科内公開ですが、個人情報保護法は遵守されます。

【専攻および講座の紹介】

本講座は、害虫制御学、資源昆虫学、水圏動物学および動物形態情報学の4研究分野からなり、哺乳類や鳥類、魚類、昆虫類などに内在する生命戦略を個体から分子に至るレベルで総合的に研究することにより、新たな生物機能利用システムを開発し、生物生産分野へ貢献することを目指しています。また、バイオダイナミクス講座、分子細胞機構学講座および資源生物機能学講座と連携を組み、生物機構・機能科学専攻を構成しています。

赴任後は、下記の科目をご担当いただくことになります。

大学院：生命農学本論Ⅱの一部、生物機能分化学基礎講義の一部、生物機能分化学基盤実験の一部、生物機能分化学特論Ⅲ、生物機能分化学演習Ⅲ、生物機能分化学輪講Ⅲ

学 部：分類・形態学の一部、動物生理学3の一部、動物生産科学3の一部、資源生物科学専門講義、基礎セミナー、理系教養科目の一部、理系基礎科目の一部、資源生物科学基盤実験実習の一部、構造機能解析法の一部、資源生物科学実験実習の一部、専門セミナー、卒業論文